

» Vol.03

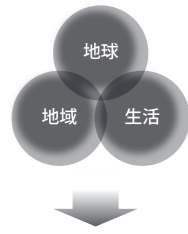
サステナブル建築の設計指針と事例集

今月号と来月号の二回にわたり、日建連の建築分野における低炭素・循環型社会へ向けての活動をとりあげます。

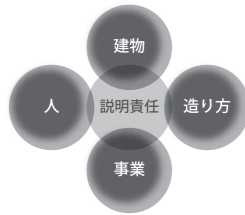
今号では、サステナブル建築、即ち省エネ・長寿命など環境性能に優れ、持続発展可能な社会の構築に役立つ建築物の推進をご紹介します。



スケールに対する、3つの環境対応の視点



ライフサイクルに対する、4つの説明責任



サステナブルな社会を目指す建築において、環境 (built environment) とは何かの認識を共有し、設計配慮項目を例示した上で、建築設計活動として行動可能な設計指針を提示したものです。設計活動における環境対応の理念と道筋を示すことで、環境負荷を低減し、地球規模の持続的発展と、生活の豊かさの増進に役立てることを目指しています。

サステナブル建築を実現するための設計指針

日本の二酸化炭素排出量全体の四〇％は建築分野からの排出で占められています。建築関係者には常に省エネ・省資源に努めることが求められるとともに、その姿勢を社会に対して情報発信することも重要です。当会は、サステナブル建築の推進により、環境負荷を低減し、地球環境に貢献すべく取り組んでいます。

低炭素・循環型社会の構築に貢献します

サステナブル建築事例集

当会会員各社の設計施工案件（新築、改修、保存等）のうち、特にサステナブル建築に取り組んだものを事例集としてまとめ、約二百件をホームページに掲載しています。省エネルギーや快適性の確保に高度な技術を導入した事例をはじめ、サステナブル建築としての性能とデザインや景観との高度な融合、免震・制震など建物の信頼性や長寿命に資する活動を有する事例など、事業企画、設計、施工、研究開発、運用・管理などに広く深く関わっている会員各社の取り組みを示すものとなっています。

